

地域みなさんから意見を聞いたら、こんなことが分かりました!!

日常生活に関するアンケートやヒアリング調査を行った結果、以下の課題が見えてきました。



- ①地域で暮らす人の言語や文化の違いによっておこるトラブル
- ②地域の困り事が複雑・複合化していてどこに相談していいかわからない
- ③つながりの減少、ご近所どうして助け合いがしづらい
- ④住民どうしが集まれる居場所が少ない
- ⑤地域活動団体どうしのつながりや、活動団体が住民とつながる機会が少ない
- ⑥住民にとって福祉が身近なものと認識されていない

これらの課題の解決に向けて

3つの「目指すべき地域の姿」を設定しました!

住民が作るつながりの場「アンダンテ」



目指すべき地域の姿

2

地域につながる一歩を踏み出し、みんなで支え合うことができるまち

活動目標：身近な人とのつながりに目を向けてみよう

地域の私たちにできること

- ・近所や同じマンションに住む人に会ったらあいさつしてみよう。
- ・地域の防災訓練やお祭りなどの行事に参加してみよう。

台東社協の取り組み

サロン活動などの居場所の立ち上げ、運営支援をするとともに、参加者どうしが交流できるような場づくりを支援します。

目指すべき地域の姿

3

住民、地域活動団体などが知り合い、つながり、一緒に未来について考えることができるまち

活動目標：地域で活動している方々の活動内容を知ろう

地域の私たちにできること

- ・まちの掲示板や地域活動団体のチラシ、SNS、ホームページなどを見てみよう。
- ・何かをしたいという思いを周りに発信してみよう。

台東社協の取り組み

- ・ふくつながりフェスタなどの地域イベントを開催することで、さまざまな団体の活動内容を知ることができる機会を作ります。
- ・「地域のために何かをしたい」という思いが実現するように、社協と一緒に考え、支援します。



たいとうふくし
つながりフェスタ2024

目指すべき地域の姿

1

ささいな困りごとも受け止め、お互いに認め合うことができるまち

活動目標：地域の困りごとに目を向けてみよう

地域の私たちにできること

- ・普段とどこか様子が違ったら気にしてみよう。
- ・困った時は、家族や友達、近くの民生委員や社協の窓口相談してみよう。

台東社協の取り組み

関係機関と連携を図り、情報把握に努めます。また、状況を整理し、解決に向けて動きます。



外国人住民と一緒に
学び合う様子

「地域福祉活動計画」は
台東区で暮らすみんなが主役の
計画なんだね!!



詳しく知りたい方は
QRコードから
本編をチェック!



「地域福祉活動計画」の注目ポイント!

POINT 1

幅広い世代に読んでもらえるような雑誌風の記事!

みなさんに最後まで楽しく読んでもらえるように、計画の内容はもちろん、フォント、配色、写真の配置などユニークな仕様となっています!



POINT 2

地域の困りごとに対して、地域みなさんと台東社協ができる取り組みを示しました!

アンケートやヒアリング調査で見えてきた困りごとの解決に向けて、具体的に何をすればいいのかわからない、どう取り組んでいけばいいのかわからない、を考えてみました!



POINT 3

計画を読むことで発見があります!

調査を通じて分かったことは、台東区には様々な「困りごと」や「生きづらさ」を感じている人がいる、という現状です。誰もがその人らしく暮らしていける台東区を創るためにどのようなChallengeをしたらいいか。そのための第一歩が本計画には示されています。